

投資を継続するメリット

クッション効果

長期的なリターンを着実にあげていく為には「投資期間は投資タイミングよりも重要である」という格言は、多くの投資家に知られています。しかし実際には、パフォーマンスが悪化し、ポートフォリオが甚大な影響を受けた場合に、じっと我慢しているのは難しいものです。

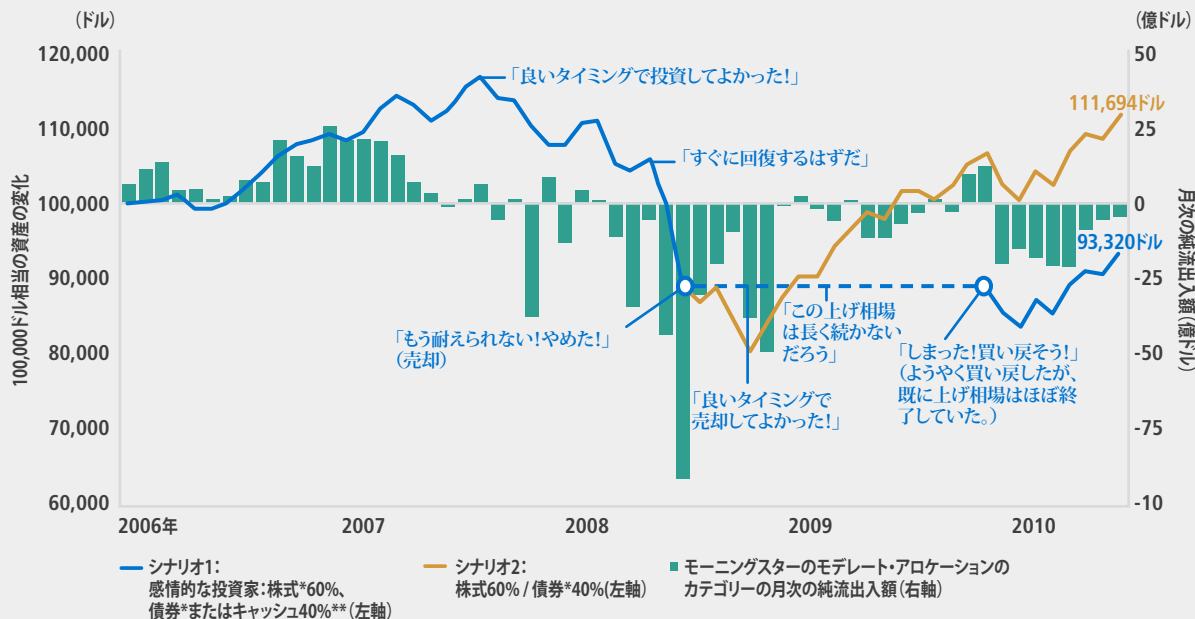
2006年初めの時点で、100,000ドル相当の株式と債券に投資しているポートフォリオを例に考えてみましょう。このポートフォリオを保有していた投資家は、その後約18カ月で資産が111,000ドルに増え、非常に満足していたことでしょう。しかし2007年半ばに市場が大きく反転したとき、この投資家の見通しは変わったはずですが、

この時の投資家の対応によって、その後の投資結果も大きく異なります。右の図を見ながら2つのシナリオを考えてみましょう。

シナリオ1 右図(青線)。およそ1年間我慢した後、ポートフォリオの価値が90,000ドルに下がった時点で全額売却。市場の回復を横目に見ながら、時期を待つ間に上昇相場に乗り遅れ、上昇基調の終盤で90,000ドルを再投資。2010年半ばに、投資額は約93,000ドルまで回復。

シナリオ2 右図(黄色線)。ずっと我慢し続け、株式を一切売却せず。2010年半ばには、ポートフォリオの価値が、以前の最高額である111,000ドルに回復。

市場の変動(ボラティリティ)が激しくなり、パフォーマンスが弱含む局面では、一旦投資している資産を売却し再投資するタイミングを伺う投資家よりも、じっと我慢する投資家の方が、早く損失を取り戻せる可能性があります。



期間：2006年1月から2010年12月。出所：モーニングスター、ブルームバーグ、PIMCO。過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。説明を目的とした仮説例。PIMCOの商品の過去、または将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。

* 株式はS&P500インデックス、債券はブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックスを使用。インデックスに直接投資することはできません。
 ** これらの結果は仮想のモデルによるもので、説明を目的とした事例。感情的な投資家は、2008年10月31日に現金化したのち、2010年4月30日に株式60%債券40%の保有に戻したと仮定。

PIMCO

過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。全ての投資にはリスクが伴い、価値は下落する場合があります。**債券**市場への投資は市場、金利、発行体、信用、インフレ、流動性などに関するリスクを伴うことがあります。ほぼ全ての債券及び債券戦略の価値は金利変動の影響を受けます。デュレーションの長い債券及び債券戦略は、より短い債券及び債券戦略と比べて金利感応度と価格変動性が高い傾向にあります。一般に債券価格は金利が上昇すると下落し、現在のような低金利環境ではリスクが高まります。債券取引におけるカウンターパーティーの取引能力の低下が市場流動性の低下や価格変動制の上昇をもたらす可能性があります。債券への投資では換金時に当初元本を上回ることも下回ることもあります。**株式**の価値は一般的な市場、経済、産業の実体と見込み両方の状況によって減少する可能性があります。

仮定上の例、およびシミュレーションには本質的な限界があり、通常、事後的に作成されます。しばしば、シミュレーションと実績との間には大きな差異が生じます。市場全般や特定の投資戦略の実行に関連する要因は多々あり、それらの要因をシミュレーションに当たって完全に考慮することはできず、実際のパフォーマンスに悪い影響を与える可能性があります。本資料で示した結果が得られる保証はありません。

本資料は情報提供を目的として配布されるものであり、投資助言や特定の証券、戦略、もしくは投資商品の推奨を目的としたものではありません。本資料に記載されている情報は、信頼に足ると判断した情報源から得たものですが、その信頼性について保証するものではありません。

ピムコジャパンリミテッドが提供する投資信託商品やサービスは、日本の居住者であり、かつ法律による制約のない方に対して提供するものであり、かかる商品やサービスが許可されていない国・地域の方に提供するものではありません。

運用を行う資産の評価額は、組入有価証券等の価格、デリバティブ取引等の価値、金融市場の相場や金利等の変動、及び組入有価証券の発行体の財務状況や信用力等の影響を受けて変動します。また、外貨建資産に投資する場合は為替変動による影響も受けます。したがって投資元本や一定の運用成果が保証されているものではなく、損失をこうむることがあります。運用によって生じた損益は、全て投資家の皆様に帰属します。弊社が行う金融商品取引業に関してお客様にご負担頂く手数料等には、弊社に対する報酬及び有価証券等の売買手数料や保管費用等の諸費用がありますが、それらの報酬及び諸費用の種類ごと及び合計の金額・上限額・計算方法は、投資戦略や運用の状況、期間、残高等により異なるため表示することができません。

PIMCOは、アリアンツ・アセット・マネジメント・オブ・アメリカ・エル・ピーの米国およびその他の国における商標です。

本資料の一部、もしくは全部を画面による許可なくして転載、引用することを禁じます。本資料の著作権はPIMCOに帰属します。2018年

(注) PIMCOはパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーを意味し、その関係会社を含むグループ総称として用いられることがあります。